



2020年6月期 第2四半期 決算説明会

新しい価値の創造により社会の持続的発展に貢献する

株式会社FCホールディングス

2020年3月5日

【JASDAQ:6542】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえてIR説明会は中止いたしました。
本書は当日使用予定の資料です。



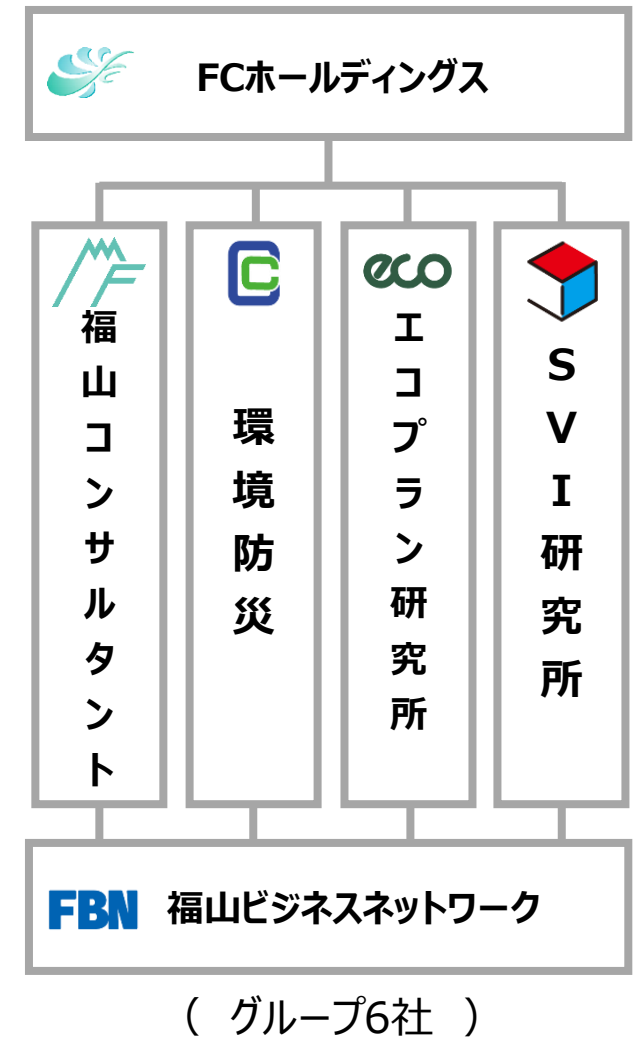
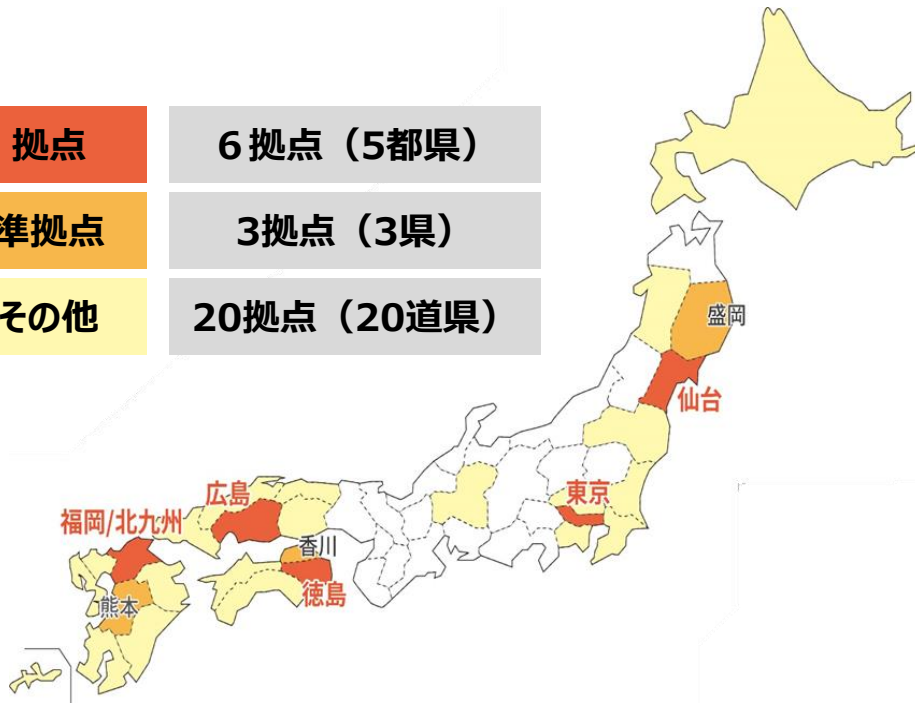
- 1. 第2四半期累計期間 決算概要**
- 2. 通期（2020年6月期）の計画**
- 3. 主要事業紹介**
- 4. 中期経営計画**
- 5. 参考資料**



－ 企業集団の概要 －

商号	株式会社 FCホールディングス
上場	東証JASDAQ（証券コード：6542）
創業	1949年3月1日（創業71年）
売上高	7,335百万円
従業員数	337名（外、臨時雇用者数144名）
経営理念	<u>新しい価値の創造により社会の持続的发展に貢献する</u>

拠点	6拠点（5都県）
準拠点	3拠点（3県）
その他	20拠点（20道県）



1. 第2四半期累計期間 決算概要（1）業績 （決算短信p.2を参照）



✓ 受注高：前期に複数年工期契約あり

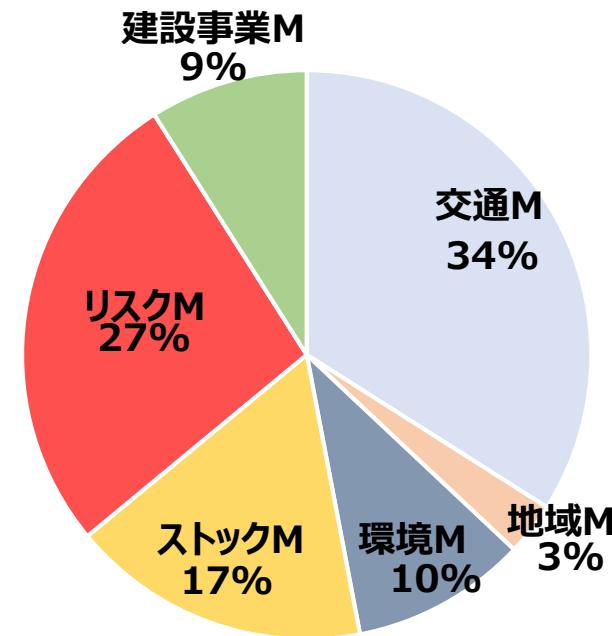
	2019.6月期 第2四半期 (百万円)	2020.6月期 第2四半期 (百万円)	対前年同期比 (百万円) (%)	
受注高	7,553	7,247	△305	△4.1
生産高	3,979	4,122	+143	+3.6
売上高	1,324	1,353	+29	+2.2
営業損失（△）	△223	△228	△5	-
経常損失（△）	△219	△227	△8	-
親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	△175	△176	△1	-

1. 第2四半期累計期間 決算概要（2）分野別受注高（決算短信p.2を参照）



（分野名称）	2019.6月期 第2四半期 （百万円）	2020.6月期 第2四半期 （百万円）	対前年 同期比 （百万円）
交通マネジメント	2,705	2,436	△270
地域マネジメント	220	250	+30
環境マネジメント	564	688	+123
ストックマネジメント	1,164	1,243	+78
リスクマネジメント	2,028	1,981	△46
建設事業マネジメント	870	647	△223
合 計	7,553	7,247	△305

構成比



1. 第2四半期累計期間 決算概要（3）財務状況（決算短信p.2を参照）



		2019.6月期末 (百万円)	2020.6月期 第2四半期 (百万円)	対前年 同期比 (百万円)	主な 増減理由
資産	流動資産	3,379	3,614	+235	・未成業務支出金増加
	固定資産	2,689	3,161	+472	・中四国支社竣工 ・環境防災施設改修
資産合計		6,069	6,776	+707	
負債	流動負債	1,472	2,428	+956	・短期借入金の増加 ・未払い法人税及び 消費税等の減少
	固定負債	149	116	△33	・長期借入金の減少
負債合計		1,622	2,544	+922	
純資産合計		4,447	4,231	△216	・利益剰余金の減少
負債及び純資産合計		6,069	6,776	+707	



2. 通期（2020年6月期）の計画（1）損益計算書

✓ 期首計画に変更なし

	2019.6月期 実績 (百万円)	2020.6月期 計画 (百万円)	対前年同期比	
			(百万円)	(%)
受注高	11,779	-	-	-
売上高	7,335	7,500	+165	+2.2
営業利益	739	750	+11	+1.5
経常利益	737	750	+13	+1.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	455	460	+5	+0.9

2. 通期（2020年6月期）の計画（2）株式関連施策

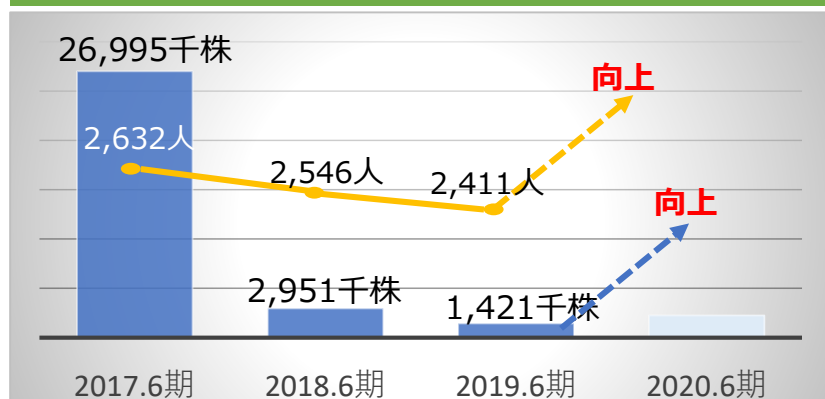


配当の基本方針

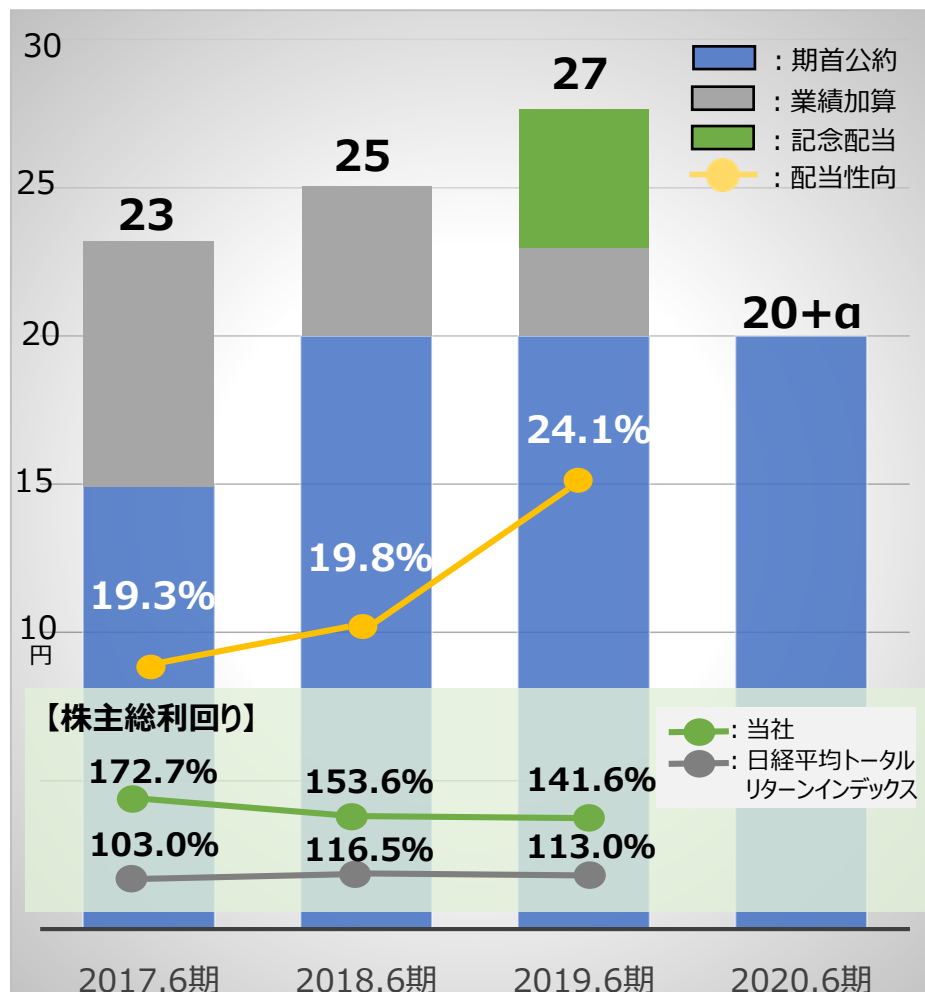
	2019.6期実績	2020.6期実績
期首公約	20円	20円
業績加算	2円	—
記念配当	5円	—
合計	27円	20円+α

* 2019.7.1に1：1.1の株式分割を行っています

株主数・売買高



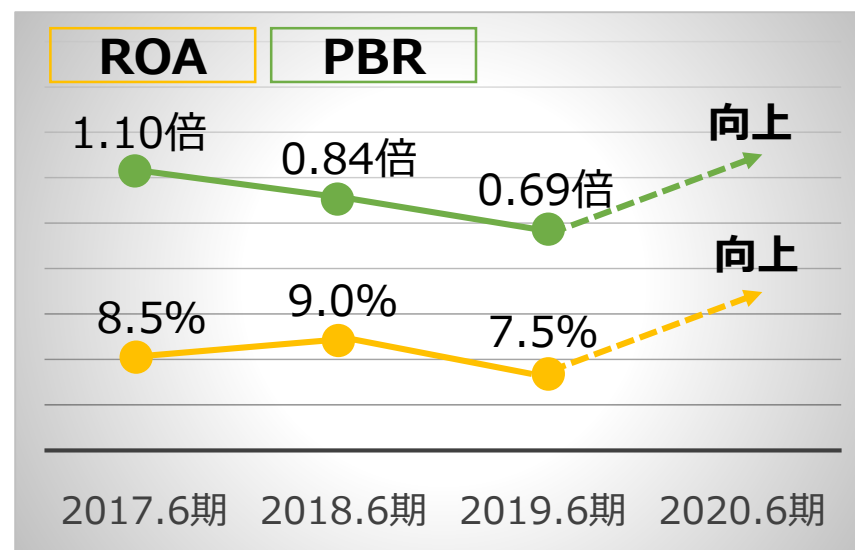
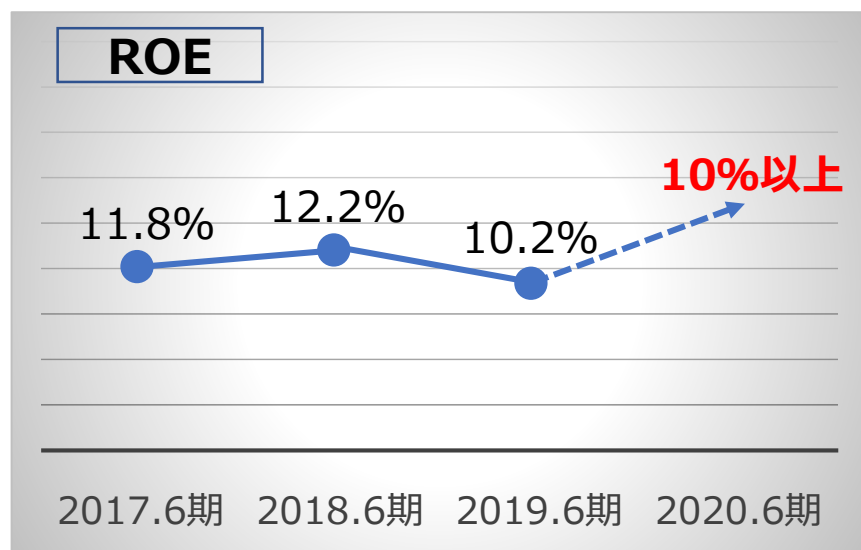
配当金



2. 通期（2020年6月期）の計画（3）その他財務指標



	2017.6期 実績	2018.6期 実績	2019.6期 実績	2020.6期 計画
ROE (%)	11.8	12.2	10.2	10%以上
ROA (%)	8.5	9.0	7.5	向上
PBR (倍) (※6/30時点株価を基に算出)	1.10	0.84	0.69	向上



3. 主要事業紹介 ー ①

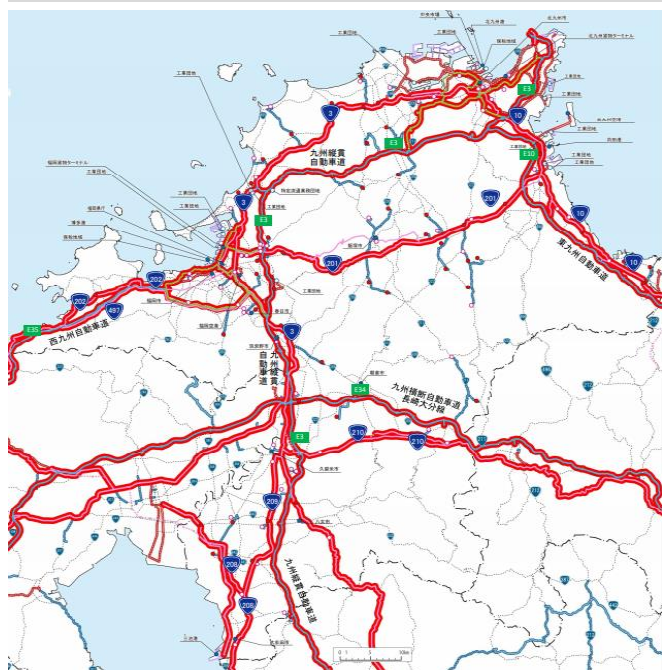


交通マネジメント

重要物流道路計画の策定

国土強靱化・新たな国土構造の形成を支援

- 九州圏内において頻発する災害や自動運転等の技術進展を見据えた未来志向型の物流道路計画を策定



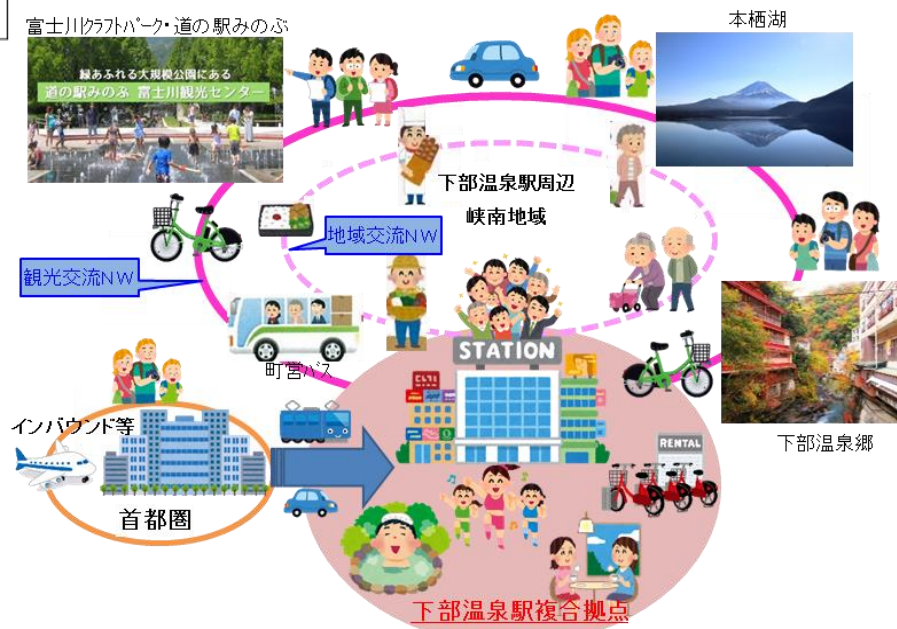
重要物流道路及び代替・補完路【福岡県】

地域マネジメント

PPP・PFI計画策定

街の資源を活用した地域活性化に貢献

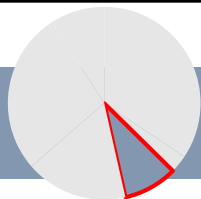
- 民間の資金・人材・施設等の資源を活用し、駅を拠点とした観光促進や地域住民の健康促進に向けた計画を策定



下部温泉駅周辺拠点整備事業と地域への波及効果のイメージ



環境マネジメント



ワシントンパーム更新計画検討

道路環境の安全性・景観保護を支援

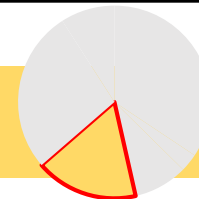
- 宮崎県国道10号の中央分離帯に植栽しているパームの植替え計画を策定



- 倒木の危険性減少
- 景観保護
- シンボル植物の継承



ストックマネジメント



危険交差点改良検討

交通事故の減少に貢献

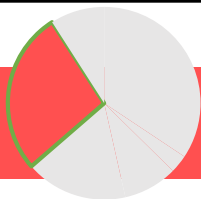
- 交差点の区画線が不明確であった新二又瀬交差点の流道路及びカラー舗装計画を策定



3. 主要事業紹介 ③



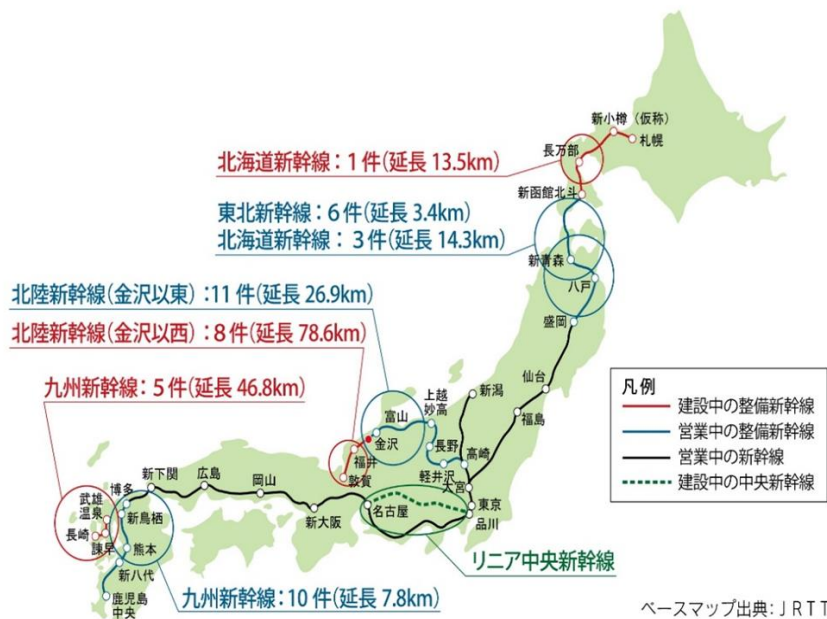
リスクマネジメント



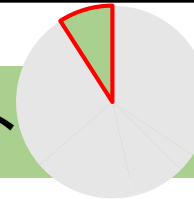
整備新幹線設計

国内外の新幹線整備設計に貢献

- リニア中央新幹線業務を含む受注
- 海外（アジア）の高速鉄道計画にも参画中
- 計画→設計→施工管理→災害復旧のトータル業務に対応



建設事業マネジメント



道路事業監理支援

安全かつ円滑な道路の迅速施工に貢献

- 国道252号本名バイパスの供用に向け支援
→ 屈曲及び幅員狭小区間の解消
- 2019年10月に本名トンネル貫通（福島県、2019年10月）





～Co-creation22～（共創22）

『豊かさ』と『安心』に満ちた社会の共創

共創する技術サービス

- 人々が豊かに安心して住み続けられる社会の創造を支援する「技術」
- 強靱で、地球環境に優しい社会の創造を支援する「技術」

基本戦略

1

次世代事業の創出
（事業の多様化）

2

コアコンピタンスの追求
（比較優位事業の深化）

3

多様な人財の雇用と継続教育
（顧客要求価値の多様化）

4

I C T 活用による生産性向上
（生産の効率化）



商品・市場・顧客の拡大

商品

建設コンサルタント事業
⇒コンサルティング分野の拡張
（多分野化加速）

市場

国内市場展開
⇒国内市場＋海外市場
（海外展開加速）

顧客

官公庁中心
⇒官公庁＋民間
（顧客層の多層化加速）



4. 中期経営計画 (2) 数値目標

成長性・効率性・目標指標

売上成長率	5%以上
営業利益率	10%以上
R O E	10%以上
研究開発費/ 売上高	5%以上
株主総利回り	中期的な向上

収益等目標指標

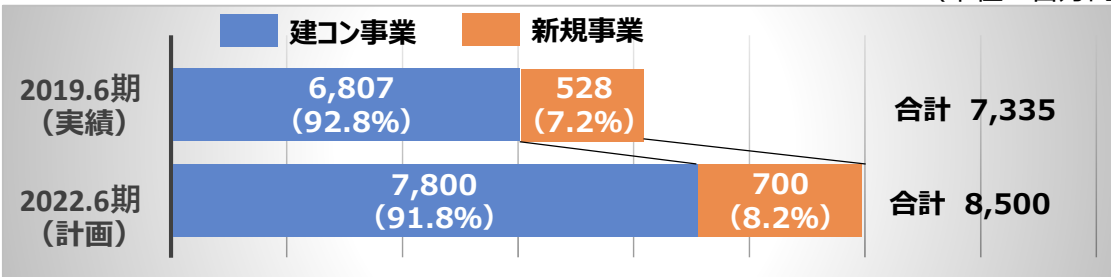
(単位：百万円)

項 目	2019.6期 実績	2022.6期 計画
		+約12億円
売上高	7,335	8,500
営業利益	739	900
当期純利益	455	500
社員 (人)	337	380

セグメント別売上計画

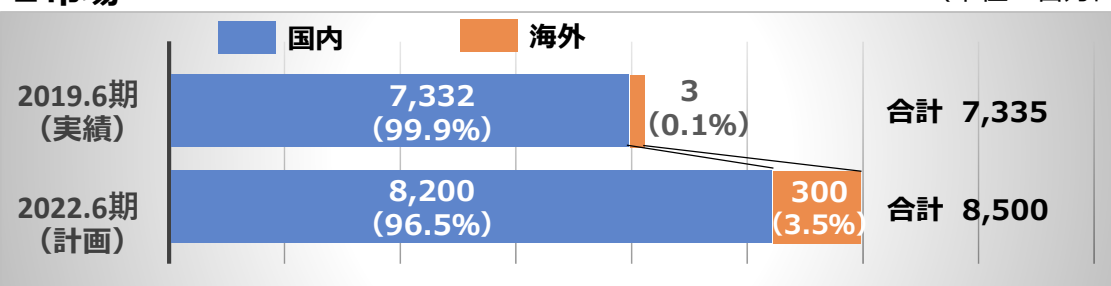
■ 商品

(単位：百万円)



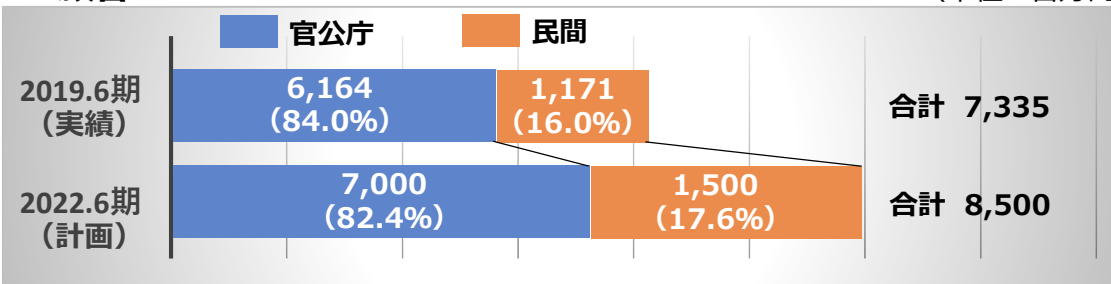
■ 市場

(単位：百万円)



■ 顧客

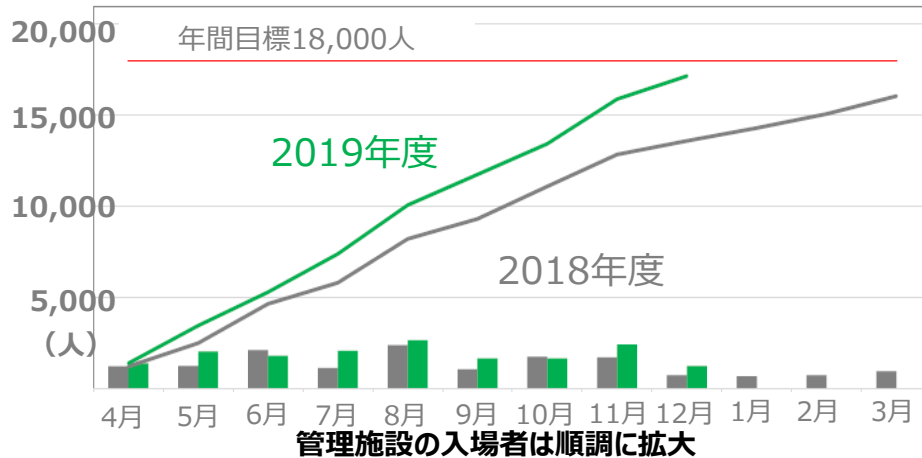
(単位：百万円)



4. 中期経営計画 (3) 多分野化

PPP・PFI業務への進出

- 北九州市より施設管理業務を受注
(福山コンサルタントとエコプラン研究所JV)
- グループのノウハウを結集し、公民連携業務分野へ積極展開



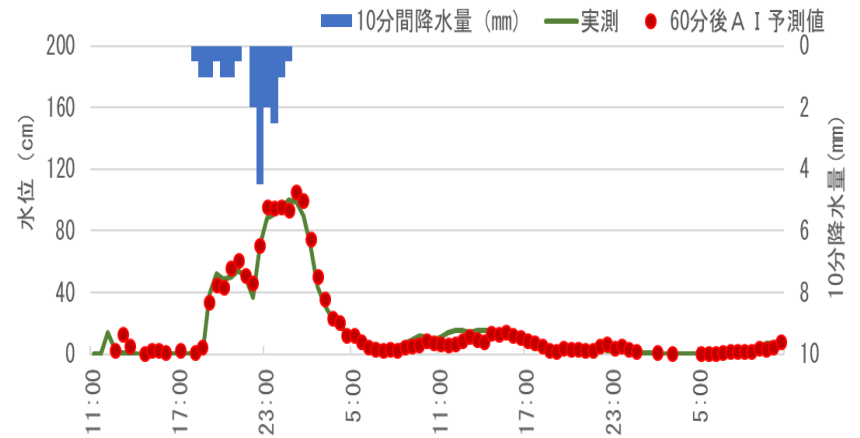
イベント「水生生物の図鑑作り」の様子
(北九州高校魚部と協働開催)



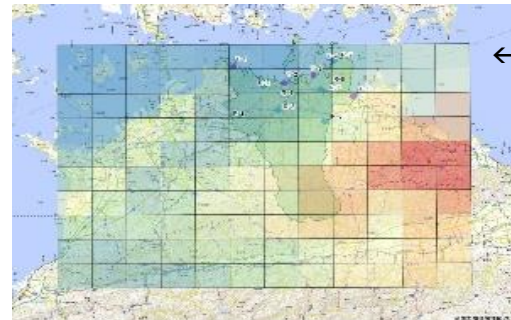
イベント「池に入ってワクワク生き物探し」の様子

AIを活用したビジネス展開

- IoT・AIを活用し近未来防災システムの開発を推進 (茨城大学・NECと共同)



AIを活用し、降水量から河川の水位を予測



←頻発する水害時の緊急避難に活用

4. 中期経営計画 (4) 海外展開

ソロモン諸島国

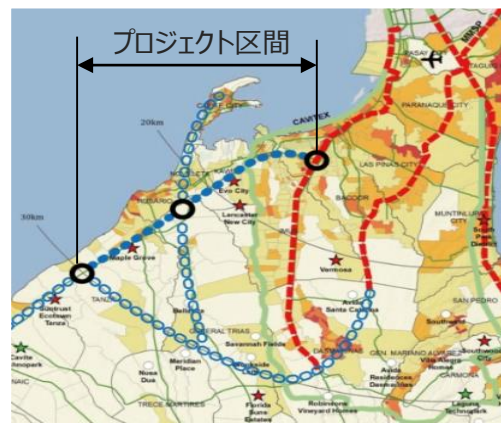
- 急増する自動車交通への対応としてパーソントリップ調査や渋滞調査を実施
- 道路計画や公共交通計画を策定



◆市内の様子

フィリピン国

- 交通渋滞解消や環境負荷が少ない公共交通を中心とした輸送システム整備事業への参画



◆市内の交通混雑状況

4. 中期経営計画 (5) 顧客層の多層化

民間市場展開

位置情報ビッグデータ活用 民間企業への積極営業中

- (株) ブログウォッチャーと位置情報等ビッグデータを活用した地域マネジメントに関し業務連携し、コンビニエンスストアの店舗開発分析を受注。

環境ビジネス

企業向け環境ビジネスを拡大中

- 企業の製造現場、実験室等の作業環境管理
- 低炭素社会の実現に向けCO2削減や省エネ対策立案など

FUKUYAMA
CONSULTANTS
CO.,LTD.



交通コンサルティング
ノウハウ

ブログウォッチャー



位置情報
プラットフォーム



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



人と自然の未来のために
豊かな地域社会を創造します

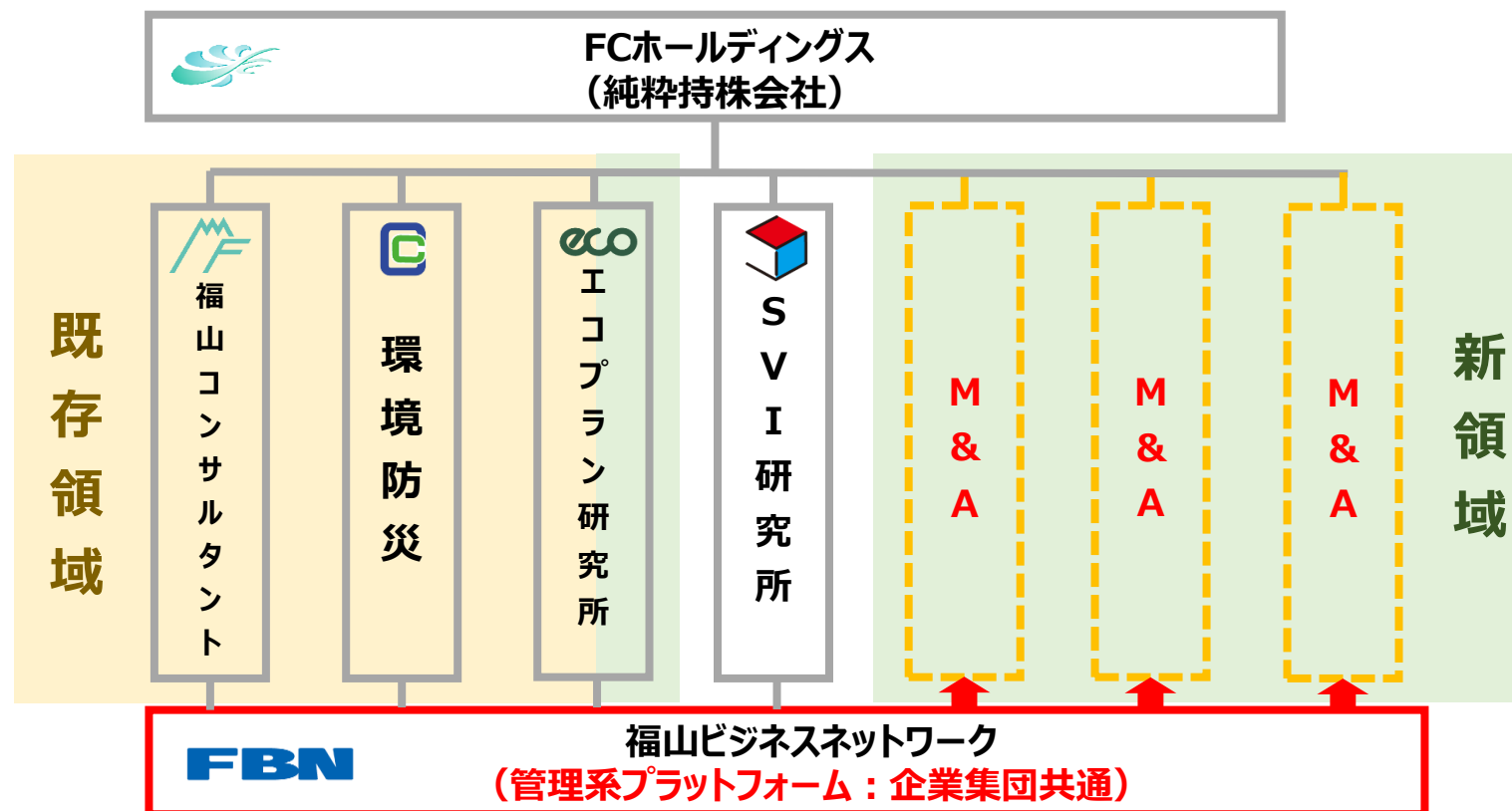
((株) 環境防災ホームページより)



中期計画期間中（3年間）に約20億円の投資

重点投資対象

- ① 河川・砂防及び海岸分野の拡大
- ② 海外展開のスピードアップ
- ③ AIや他分野のノウハウ活用による新ビジネス、民間向けビジネスの展開



中期計画期間中 (3年間) に約3億円の投資

次世代モビリティマネジメント

- MaaSの活用・次世代の街づくり
- 自動運転に対応した道路などのインフラ研究の実施

3社による自動運転モビリティ 導入支援サービスの提供開始



主要拠点を結ぶ次世代型自動運転の 実証実験を開始



自動運転バス



パーソナルモビリティ

防災・減災マネジメント

- AIを使った河川水位予測や企業の災害計画作成支援など多発する災害への対応

インフラマネジメント

- ドローン、AIを活用したインフラの維持管理や大規模修繕への対応

4. 中期経営計画 （8）就労環境・生産設備・生産プロセス



就労環境整備

2019.10月
徳島



2019.12月
広島



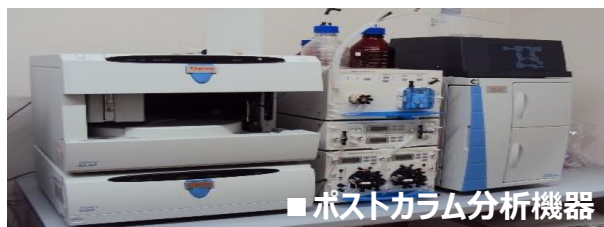
2020.2月
東京



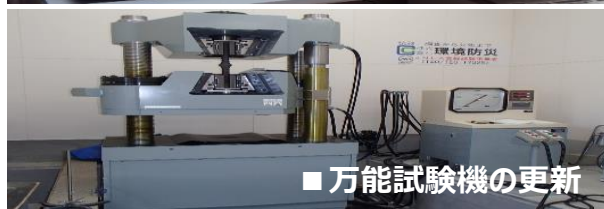
生産プロセス改善

- RPA導入（生産過程の標準化）
- 社内データベースの整備
- テレワーク・サテライトオフィスの導入促進

生産設備増強



■ ポストカラム分析機器



■ 万能試験機の更新

新分野の受注が可能に



- ・水道の水質検査
- ・温泉施設の水質検査
- ・飲料水品質検査 等

新規顧客の開拓に



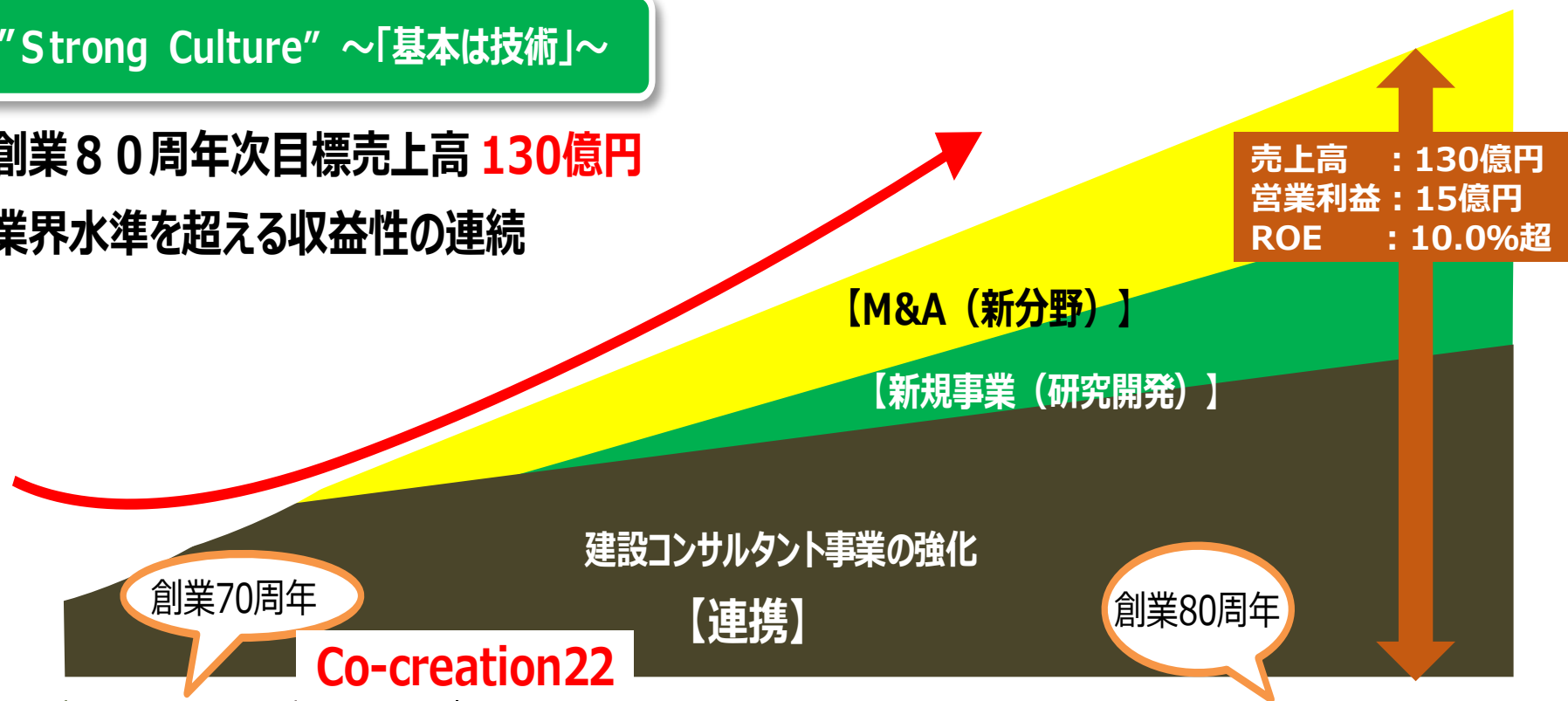
- ・住宅メーカー
- ・ゼネコン 等

5. 参考資料 ①成長戦略のイメージ



“Strong Culture” ～「基本は技術」～

- 創業80周年次目標売上高 **130億円**
- 業界水準を超える収益性の連続



年次	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
経営計画	FCC第3次計画 最終年	FCHD第1次中期計画			FCHD第2次中期計画			⇒			⇒		
	基盤再整備完了	共創的進化			加速			⇒			⇒		



5. 参考資料 ②グループ会社の概要



福山コンサルタント

- 創業 : 1949年3月1日（創業71年）
- 資本金 : 400百万円
- 主要事業 : 道路部門をはじめとした建設コンサルタントに関わる全般のサービスを提供。

- 役職員数 : 337名（外、臨時雇用者数144名）
- 有資格者 : 工学博士11名、技術士188名、その他
- 事業所 : 福岡（本社）4拠点（北九州、広島、東京、仙台）
その他24の支店、事務所



環境防災

- 創業 : 1964年8月1日（創業56年）
- 資本金 : 90百万円
- 主要事業 : 建設全般に係る試験・調査をはじめとした建設コンサルタントサービスを提供。

- 役職員数 : 80名（その他臨時職員含む）
- 有資格者 : 工学博士2名、技術士21名、その他
- 事業所 : 徳島（本社）
その他4の事業所、営業所



SVI研究所

- 創業 : 2018年7月1日
- 資本金 : 20百万円
- 主要事業 : AI、IoT等の最新技術を活用した研究開発企業。

- 役職員数 : 7名
- 有資格者 : 技術士
- 事業所 : 東京

FBN 福山ビジネスネットワーク

- 創業 : 2016年3月1日
- 資本金 : 30百万円
- 主要事業 : グループ全体の事務管理系プラットフォーム企業。

- 役職員数 : 52名
- 有資格者 : 税理士、社会保険労務士
- 事業所 : 福岡



エコプラン研究所

- 創業 : 1992年2月1日
- 資本金 : 10百万円
- 主要事業 : 環境調査及び指定管理業務をはじめとする建設コンサルタントサービスを提供。

- 役職員数 : 15名
- 有資格者 : ビオトープ管理士
- 事業所 : 福岡

◆ 当プレゼンテーション資料は、株式会社FCホールディングスおよびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来 に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売出、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料 の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。



株式会社 FCホールディングス 経営企画室

E-mail : ir@fchd.jp

Tel : 092-412-8300 Fax : 092-412-8303

~Memo~